

EU 支部長: 松原真実子 MATSUBARA Mamiko 国際文化研究専攻修士論文『異文化間コミュニケーションの研究—フィードバック作用—』

この号の内容

- 1 ベネチアで水上パレード
カーニバル開催
- 2 EU 支部だより

・カナル・グランデ
・大きなネズミ



・希望と活気
・文化継承
・日本の祭り



イタリア ベネチアで水上パレード カーニバル開催

2024年1月29日 12:19 発信地: ベネチア/イタリア [イタリア ヨーロッパ]AFP

【1月29日 AFP】イタリア北部ベネチア（Venice）で28日、毎年恒例のカーニバルが開幕した。カナル・グランデ（Grand Canal、大運河）では水上パレードが行われ、伝統となっている大きなネズミを模した船も登場した。運河に架かるリアルト橋（Rialto Bridge）に到達すると、ネズミの背中が二つに割れて中から風船が飛び出し、周囲には紙吹雪が舞った。ミラノ（Milan）から来たという女性は「ベネチア・カーニバルは、仮面、衣装、風景、ラグーンのおかげで特別な魅力を醸し出している。ここに来るのが小さい頃からの夢だった。今年は夢がなかった。」と語った。(c)AFP

EU 支部だより -お祭りの再開-

ベネチアのお祭りが再開されたことは、多くの人々にとって明るい話題であり、特にコロナ禍の影響が続く中で、希望と活気を与える出来事です。過去数年間、ベネチアのお祭りは制限や中止の連続であり、地元住民や観光客の心を重くしてきました。しかし、今年の1月に再開されたことで、ベネチアの魅力と活力が再び蘇りつつあります。

ベネチアのお祭りの再開は、市民や観光客にとって待ち望まれていた瞬間でした。これまでの経緯を振り返ると、コロナ禍の影響で多くのイベントや祭りが中止や延期を余儀なくされました。特にベネチアのような歴史的な都市は、観光業に大きく依存しており、その停止は地域経済に大きな打撃を与えました。しかし、地元の指導者やイベント主催者は、安全な方法でお祭りを再開するために努力し、感染症対策を徹底しました。

ベネチアのお祭りが再開されることで、地域の経済が活性化し、多くの人々が再び市内を訪れることが期待されます。これは地元の産業やビジネスにとって大きな助けとなり、雇用の回復や収入の増加につながるでしょう。また、観光客の復帰は文化的な交流を促進し、地元の文化や伝統の継承にも役立ちます。

しかし、再開されたお祭りにはまだ課題が残っています。感染リスクや社会的距離の必要性など、コロナ禍の影響はまだ完全に収束していません。そのため、イベント主催者や参加者は引き続き安全対策を遵守し、感染拡大のリスクを最小限に抑える努力を続ける必要があります。

日本のお祭りや観光と比較すると、ベネチアのお祭りは独特の雰囲気と歴史的背景を持っています。日本のお祭りは多くが地域の伝統や神事に基づいており、季節や地域によって様々な催しや行事が行われます。一方、ベネチアのお祭りは水上パレードや仮面舞踏会など、ユニークな要素が特徴であり、世界中から観光客が訪れる魅力があります。

コロナ禍の影響で世界中のお祭りや観光業が停滞している中、ベネチアのお祭りの再開は希望に満ちた兆しとして捉えられています。これからも安全対策を重視しながら、地域の魅力を再び世界に発信していくことが大切です。(松原)